

2018年7月
公開決定

ドキュメンタリー映画

美味しい ごはん

Delicious
GOHAN



主演
ちこ

ちゃんとお米を食べたら 心にひかりが満ちてくる。

どんな映画なの？

日本人のごはんを守る ドキュメンタリー映画

昔の日本人にとってお米は特別な存在でした。毎年の収穫に感謝し、神様にお供えする。「いただきます」と手を合わせ、美味しく食べる。毎日の食卓の温かいごはんには、家族の幸せを祈る気持ちが込められていました。しかし近年、手軽な食事が増え続ける中で愛情のこもった、本当に美味しいごはんが、日々、失われていっています。同時に、日常のなかにあった本当の「豊かさ」や「幸せ」も、無くしてしまっているのではないのでしょうか？ かつての日本人のような生き方を、もう一度今の日本で「当たり前」にしたい！ 次の時代を作る子ども達に伝えていきたい！ そんな思いで集まったメンバーで立ち上げたプロジェクトが、日本のお米の復活をテーマにしたドキュメンタリー映画『美味しいごはん』の製作です。



自主制作映画についての説明会を開催！

映画「美味しいごはん」の説明会 開催！（参加無料）



本映画は、配給会社が行う劇場での期間限定の上映ではなく、「自主上映」で公開します。自主上映とは、この作品を「共有したい」、「みんなに見て欲しい」と思ってくださった方が主催者となり、自主的に映画の上映会を主催していただけるスタイル。あなたも主催者として『美味しいごはん』伝えてみませんか？ ご興味のある方は、まずは無料説明会にお越し下さい。映画の公式サイト(QRコード)からお申込み頂けます。

【開催日】	【開催時間】	【開催場所】
2018年2月3日(土)	15:00~18:00	G Tビル (大阪府枚方市楠葉)
2018年2月12日(月)	14:00~17:00	白金ビレッジ (東京都港区白金)
2018年3月3日(土)	14:00~17:00	G Tビル (大阪府枚方市楠葉)
2018年3月21日(水)	14:00~17:00	白金ビレッジ (東京都港区白金)

※4月以降も随時開催予定です。

プロジェクトメンバー

 主演 ちこ	 編集 奥田啓太	 ゼネラル マネージャー (総責任者) 小田真嘉
 アート ディレクター 千原徹也	 企画 協力 ひすいこたろう	 制作 プロデューサー 鈴木七沖



映画「美味しいごはん」への想い

ゼネラルマネージャー
小田真嘉



千年後、神話となつて残る。
そんな物語を作りたい。

撮影を進める中で感じた 「食」に携わる人たちの苦しみ

この映画を始める前から、「食べ方を
変えたら、生き方が変わった」という
人たちがたくさん見られました。私自
身もその一人です。食べ方というの
は、「食」に対する向き合い方のこと。
「食」ってというのは、いのちのことだか
ら、つまり、いのちとの向き合い方が
変わっていったってことです。そんな
人たちと一緒に1年間映画を撮り続け
てきて、今、改めてこの映画を撮る意
義というか、使命を感じています。
特にショックが大きかったのは、日
本の「食」の実態を知ったことです。「食」
の現場を目の当たりにし、生産者の葛
藤を知りました。料理人やお母さんた
ちから嘆きの声を聞きました。「食」の
現場は今、闇を抱えているのです。

誰もが幸せになるのが 本来の「食」の姿なのに…

本来、美味しいごはんの周りにいる
人たちが幸せなはず。生産者も、
料理人も、お母さんも、おいしいもの
を作ってくれています。だから、食べ
る人たちは皆、美味しいごはんを食べ
ることが出来ます。なのに、どちらも
幸せを感じていません。むしろ、苦し
んでいる人がとても多いのです。そん
な「食」本来のあり方と真逆のことが
起きているのが、日本の現状なのです。
私たち日本人は、あらゆる困難を乗

この映画には、日本の“食”の流れを変える使命がある

り越え、新しい文化を育て、経済を発
展させてきました。しかし、なぜか人
間だけが真逆の方向へ進んでしまっ
ている…。この映画を撮影しながら、そ
う感じずにはいられませんでした。

千年先の日本を変える映画へ

誰もが幸せに生きていくために「食」
は絶対に欠かせません。しかし、その
重要性を忘れてしまっている人があま
りにも多いんです。だからこそ、この
映画を広く世に届ける意義を感じまし
た。「食」の現状の「闇」に対して、こ
の映画は一つの「光」となつて世の中
を照らす使命がある、と。日本人の魂
であるお米をきっかけに、日本人らし
さや、日本の良さを思い出してほしい。
そうして「食」本来の価値観を見直し
ていってほしいな、と思っています。

そういう点から、この映画は「良い
話だったね」で終わりません。見てく
ださった方が、「私も美味しいごはん
つくろう！」って自然と思う映画にな
ります。料理人やお母さんだけじゃな
く、日常でごはんをつくる人たちが皆
そう思うようになったら、世の中に美
味しいごはんが増えるし、幸せになる
人がもっと増えます。そんな人たちが
10年先、20年先の日本をつくり、さら
には百年先、千年先の日本を変える流
れができるかもしれません。そんなピ
ジョンをもって、私はこの映画を広げ
ていくつもりです。